

2025 年 4 月 1 日

一般社団法人日本透析医学会 施設会員

施設責任者殿

感染対策担当者殿

一般社団法人日本透析医学会

理事長 友 雅司

感染対策委員会 委員長 菊地 勘

透析患者におけるインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の現況 に関するアンケートへのご協力のお願い

謹啓

先生方におかれましては、日々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素よりひとかたならぬご高配を賜り厚くお礼申し上げます。今回、「透析患者におけるインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の現況に関するアンケート」のお願いでご連絡させていただきました。

2023 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5 類感染症」となり、同年 5 月 24 日をもって、日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会による患者数の報告は終了しました。また、日本透析医学会の統計調査では、2000 年末から 2023 年末まで新型コロナウイルス感染症についての調査を行いました。2024 年末からは調査を行っておりません。

一方、2024 年 3 月 31 日で新型コロナワクチンの全額公費による接種は終了しました。そして、2024 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで実施された、新型コロナワクチンの定期接種の対象者は、一般は 65 歳以上、透析患者は 60 歳以上と対象が限定され、費用についても各自治体において設定した自己負担額が必要となっています。そして、60 歳未満の透析患者は任意接種となり、費用も全額自己負担となりました。

このような背景の変化から、透析患者における新型コロナワクチンの接種状況、感染率、重症化リスクや致死率を、透析患者全体や年代別で調査する必要性が高いと考えました。更に 2024 年から 2025 年にかけて、インフルエンザの大規模な流行が発生したことから、インフルエンザについても同様の調査を行う必要が高いと考えました。

今回のアンケート調査は、透析患者におけるインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の現況、ワクチン接種率、抗ウイルス薬の使用率を明らかにすることを目的としています。また、ワクチン接種や抗ウイルス薬の使用と入院や死亡との関係を検討して、今後の対策に役立てることを目的としています。このアンケート結果に基づき、患者や医療従事者に感染状況やワクチン接種、抗ウイルス薬の効果について啓発を行います。そして、厚生労働省など行政と、透析患者におけるワクチン接種についての交渉を行う資料として使用いたします。

日常診療で多忙のなか詳細な項目に関するご回答をお願いして誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同いただきましてアンケートにご協力いただけますように、格段のご高配を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

末筆ながら貴施設の皆様の益々のご活躍とご発展を祈念申し上げます。

謹白

裏面もお読みください→

郵送もしくはWebでの回答をお願いしております。

郵送での提出期限

同封の返信用封筒に記入済みのアンケート用紙を入れて返送してください。(切手不要)

2025年5月9日(当日消印有効)

Webでの提出期限

2025年5月11日(24:00迄)

Webでのご回答方法

パソコン、スマートフォン・タブレットがご利用いただけます。

同一の端末で複数回アクセスされた場合、画面が正常に表示されない場合がございます。
その際はブラウザのキャッシュやCookieの削除をお試しください。

パソコン



<https://bit.ly/4hN43eC>

上記でアクセスできない場合は大文字小文字に注意して以下をご入力ください。

<https://ai131xw7vv.smartrelease.jp/Survey/index.php/881231?lang=ja>

スマートフォン・タブレット



上記アドレスにアクセスいただきアンケートにご入力ください。